

みみちゃん通信 NO.8 岐聖大ふぞく幼稚園 発行

秋の深まりとともに身近な木々の葉が赤や黄色に変わり、やがて風に吹かれて落ち葉になっていきます。色とりどりの木の葉のように、子ども達も十人十色、個性豊かな美しい色をもっています。金子みすずさんの詩の中に「みんなちがってみんないい」というフレーズがあります。一人ひとりにはそれぞれのよさがあり、お互いみんな大切だね...という思いが込められているようです。子どもを取り巻く私たち大人もそれぞれの役割を十分発揮しながら、一人ひとりの成長を温かく見守り、大切に育てていきたいと思っています。

園庭にも自然がいっぱい!

芝生が日に日に色あせていくのは休眠状態に入りつつあるからですが、東端の花壇の野菜たち(大根・人参・かぶ)は緑の葉が伸び順調に育っています。そして、くぬぎやナラの木からは毎日数個のドングリの実が落ちてきて、子ども達が大切に拾い集めています。プランターやテラスに並べた植木鉢にはチューリップの球根が子ども達の手によって植えられました。寒い冬の間土の中で芽を出すためのエネルギーを蓄えていきます。プールの横にある小さな畑からは、お米とサツマイモを収穫し、続いてイチゴとジャガイモを育てようと考えています。身の回りの様々な自然物からも季節の移り変わりや命の尊さを感じ、小さな生長や発見をみんなで喜び合えるような環境づくりに心がけています。



健康な体づくりで風邪を予防しましょう

気温が下がり、空気が乾燥してくると気をつけたいのが風邪です。うがいと手洗いが風邪予防の基本です。小さなお子さんにもできる方法で習慣づけましょう。また、規則正しい生活でウィルスを寄せつけない体づくりも大きな風邪予防になりますので、ご家族みんなで気をつけていきたいものです。



寒い季節を快適に過ごす服装とは... 普段の服装は活発に遊べることを優先して考えてみましょう。

下着を着る...

保温性・吸湿性を考えると綿100%の半そでが一番。Tシャツは下に着るとごろごろして動きにくくなるので、下着には不適切。



薄手の重ね着...重ね着により服と服の間に体温で温まった空気の層ができ、厚手1枚よりも保温性が高く、薄手なら動きやすく機能的。

学研「ほけんだより」
12か月より

着脱しやすいもの...ファッション性よりも、ボタンやホックをはめやすく、ひとりで着脱できるものがよいでしょう。